

令和4年度 可燃ごみおよび資源物排出状況調査を実施しました

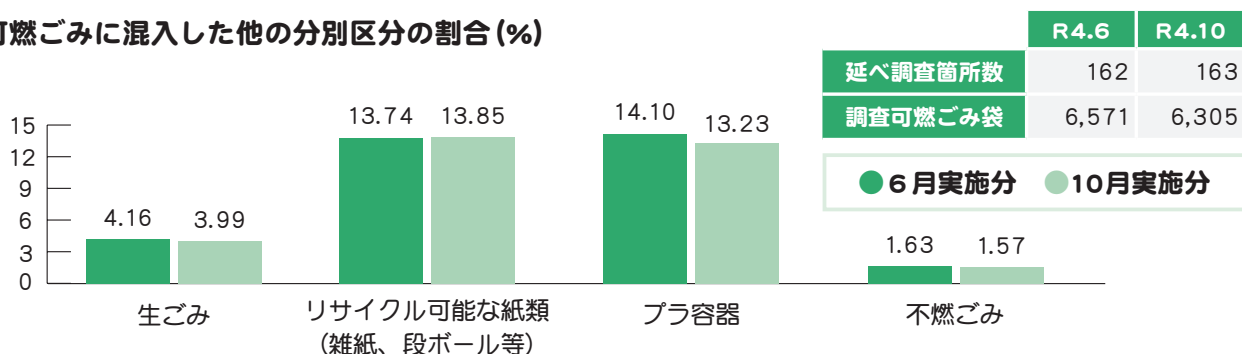
令和4年6月および10月に可燃ごみと資源物の排出状況について、町環境委員に調査を依頼しました。その調査結果をまとめたところ、下記のような結果となりました。

6月、10月共にほぼ同様の傾向を示しています。可燃ごみはプラ容器と雑紙の混入が多く見られ、資源物はペットボトルのキャップ・ラベルとビンのふたがついたまま排出されているものが多いとの結果となりました。

ごみは分別して出せば資源になります。限りある資源を有効活用できるように、町民の皆様においても、ごみの減量・再利用促進のため、分別にご協力をお願いします。

可燃ごみ

●可燃ごみに混入した他の分別区分の割合(%)

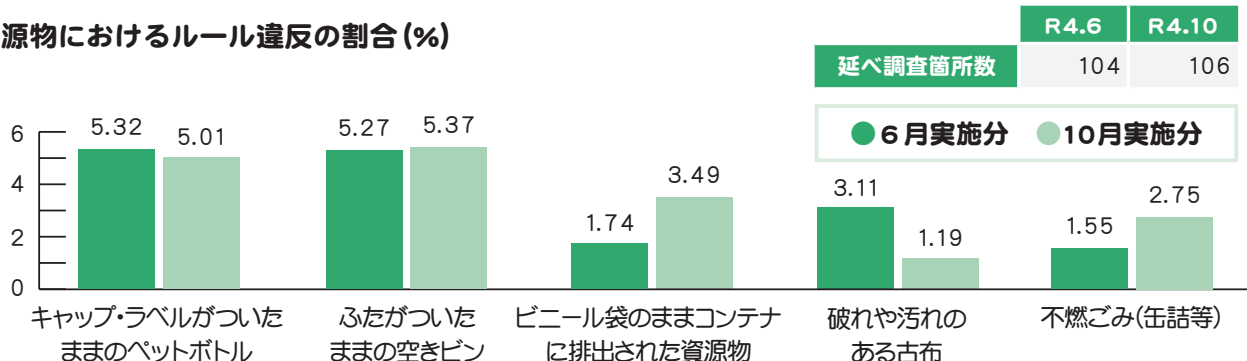


●グラフ以外の主な状況および意見

- ・収集日以外のごみが排出されている。(プラ容器、剪定枝) ・ペットボトルが混入している。
- ・粗大ごみに該当するものが排出されている。

資源物

●資源物におけるルール違反の割合(%)



●グラフ以外の主な状況および意見

- ・中身をすすいでいないビン・缶・ペットボトルが排出されている。
- ・段ボールが縛られずに排出されている。 ・ペットボトル用とビン・缶用のコンテナの使い分けがされていない。

ごみの分別徹底をお願いします！

調査結果にあるように、分別区分が守られておらず、他の分別区分のごみが混じっています。

今一度、収集計画表やごみ分別早見表でご確認いただき、分別区分を守ったごみ出しをお願いします。

分別区分が守られていないと、ごみ収集車やごみ処理場で火災などを引き起こす原因にもなりますので、ご協力をお願いします。

出したごみが回収されているか、収集後に確認をお願いします。



可燃ごみに生ごみが混入している